

三重県障害者就業・生活支援センター 連絡協議会みえーるだより

みえーる広報誌 第1号
令和7年6月27日

【発行元】
三重県障害者就業・生活支援センター
連絡協議会みえーる 広報部会

ご挨拶



このたび、「三重県障害者就業・生活支援センター連絡協議会みえーる」の広報誌『みえーるだより』を創刊いたしました。本誌には、私たちの活動や想いを地域の皆さまに広くお届けし、障がいのある方の「働く」を支える輪を、さらに大きく広げていきたいという願いが込められています。

障害者就業・生活支援センターは、障がいのある方が地域で安心して働き、暮らしていけるよう、就業と生活の両面から支援を行う機関です。県内の各センターが連携し、よりよい支援の実現をめざすため、令和6年度に「三重県障害者就業・生活支援センター連絡協議会『みえーる』」を立ち上げました。

今年度からは、制度改正や「就労選択支援」の開始など、就労支援をめぐる環境が大きく変化しようとしています。私たちは、地域の“支援のつなぎ役”として、関係機関とのつながりを一層深め、実効性のあるネットワークづくりに取り組んでまいります。

『みえーるだより』が、地域の皆さまと私たち支援機関をつなぐ一歩となり、障がいのある方の可能性を広げるきっかけとなれば幸いです。今後とも、温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

三重県障害者就業・生活支援センター連絡協議会みえーる 会長 後藤 勇介

みえーるの目的

みえーるの名称の由来…三重県とエール（応援）を掛け合わせた造語で、平仮名にすることで柔らかみを持たせました。

連絡協議会という組織的な活動を通じて、各行政機関等に向けた障害者雇用に関する提言や要望等を挙げていくことや、障害者就労に関わる様々な関係機関との連携を深め、三重県内の障害者の雇用や職場定着を促進することを目的にA L L三重で取り組みます。

令和6年6月28日 設立総会を開催しました

みえーる会員である県内9センターの職員に加えて行政の関係者を来賓として招き、県外のセンターの職員さんも参加され、みえーるの設立総会を開催しました。総会では会則と役員選出について協議し、承認を頂きました。



また、総会後に開かれた全国就業支援ネットワーク代表理事の藤尾氏による基調講演では、「ナカポツの基幹型センターとしての役割」「千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会の取組」「ナカポツ職員としての視点」を学びました。終了後は意見交換会を開催し、各々で交流を図りました。

～県内センターの紹介～

鈴鹿亀山障害者就業・生活支援センターハコ

住 所 鈴鹿市神戸1丁目19-25 北栄ビル2階204
電 話 059-373-6670

令和7年4月より、障害者総合相談支援センターあいから、ナカポツが別の場所に事務所を構え名称も「鈴鹿亀山障害者就業・生活支援センターハコ」として活動することとなりました。

メンバーは昨年と変わらず引き続き鈴鹿・亀山にお住まいの皆様の支援を行っていきます。

ハコスタッフ一同より

【名前の由来】

「ハコ現象」太陽の周りに虹色の光の輪がかかる美しい現象。太陽が当事者の方、周りの虹が関係機関も含めた支援者を表しています。



～みえーるの部会紹介～

●広報部会・・・みえーるの活動周知を行います



令和6年度は活動周知のツールとして、みえーるのパンフレットを作成しました。合わせてこちらの広報誌も作成し、今後は活動ツールとして配布を始めます。



●研修部会・・・研修の企画・運営を行います

令和7年度より研修部会が発足しました。

今後、ナカポツ職員や地域の関係機関を対象とした研修会を開催します。

令和7年2月14日 三重障害者職業センターの主任障害者職業カウンセラーの三浦氏を講師に招き、ナカポツ職員を対象とした研修会を開催しました。講義とグループ演習を通じて記録の目的・方法・工夫について学び、他ナカポツ職員とも交流を図りました。

三重県障害者就業・生活支援センター連絡協議会みえーる 事務局
障がい者就業・生活支援センターいくる
伊勢市曾祢1丁目13-5 電話 0596-65-7178

働きたい自立したいを応援します